

萩市医師会報

No.598 2023.1

春日神社
山口県萩市春日町
春日神社
春日神社
春日神社

2月例会
2月24日(金) 午後7時
於 医療支援センター

「新年」春日神社
撮影 A.O.

年頭所感

萩市医師会長 綿貫 篤志



明けましておめでとうございます。年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

2022年を振り返ってみますと、ロシアのウクライナ侵攻や安倍晋三元総理の銃撃事件、経済においては歴史的な円安と物価の高騰など、ショッキングなニュースが相次いだ1年となりました。今年はまだ続く、ロシアのウクライナ侵攻や、世界的インフレなどの情勢のなか国をどう動かしていくのか、岸田総理のお言葉どおり「歴史の分岐点を迎えている」と思います。人口減少や少子高齢化、社会保障費の拡大、財政赤字、人手不足、エネルギー問題、医療DXなど加速するデジタル化への対応など山積する課題にどう向き合うか重要な年になると認識しています。

さて、我々が、新型コロナウイルス感染症と向き合い始めて、丸三年の月日が経ちました。現在第8波に突入し、1月6日には山口県内で過去最多の5,097人の感染者が発表されました。行動制限を要請しない方針の下、今後もこの数字は増えてくるでしょう。またインフルエンザも、全国の定点医療機関当たりの平均患者数が1を超え、3年ぶりに全国的な流行期に入りました。同時流行に対して気を引き締めての対応が必要です。また医療介護施設のクラスターは昨年一年間、萩医療圏内だけでものべ33施設にのぼりましたが、関係者の皆様の大変なご努力により鎮静化しております。感染の終息が見えない上ではクラスターとの戦いは続きます。診療検査医療機関の拡充、自宅療養支援、受入れ入院医療の整備も含め、引き続きコロナ対策の充実が医師会の最重要課題です。昨年10月には、都志見病院と萩健康福祉センターのご指導の下、萩地域・感染対策・連携カンファレンス及び、感染症・対策訓練を開催しました。翌月には、萩圏域地域包括ケアネットワーク協議会、多職種連携研修会を開催し、山口県立総合医療センターへき地医療支援センターの原田昌範先生をお招きし、萩健康福祉センターの全面協力の下、医療・介護関係者約140人のご参加を頂き、コロナ対策における講演会と、第2弾は70人規模でのグループワークを開催し、「第7波で困ったこと」圏域で「助け合ったらできそうなこと」と言うテーマで問題点を議論しました。コロナ禍でありつつも多くの参加を頂き、会議が開催出来たことは大変有意義でありました。現在、得られた課題を整理し具体的方策を構築する為の審議を継続しております。本年も昨年同様、県コロナ室、健康福祉センターとの連携、また、萩市阿武町と協働で開催している萩市圏域地域包括ネットワーク協議会を中心に、萩阿武全体がワンチームとなり講演会、意見交換会など開催し対策を拡充して参りたいと思います。

また、中核病院の形成についての議論も避けて通れない重要課題です。この一年間、萩市医師会は中核病院の議論に対して静観して参りました。しかしながら萩医療圏では、専



門職の減少が急速に進んでおり医療圏を守っていくためには早急な対策、処方箋が必要となってきました。市外への流出、准看の入学者激減など深刻な問題を抱えています。原因は若者の人口減だけではなく、現在の萩圏域の不安定な医療情勢が関連しています。つまり、中核病院の議論が、長期間にわたって棚上げになっている現在、この地域の中心を支える医療体制の整備が不安定になっていることが、医療従事者の間では大きな不安要素になっており、新たに医療職に就こうと希望される方の減少、或いは、現職で活躍しておられる医療従事者が他圏域に流出されるケースに繋がっています。この事は、今や2病院の問題だけではなく、地域全体の大きな問題になっているように感じます。医師のみならず、看護師、その他医療職が減少すると、医療の質を高めることはできなくなり、命に直結する救急体制の逼迫、診療科の減少による専門的医療の提供体制不足に陥るなど地域医療に大きな支障を来す結果に繋がります。一度、瓦解したものを再構築するには大変なエネルギーを要します。そのため早急に急性期医療体制整備に対して、明確な方向性が示され、地域医療の未来に向かって明るい兆しが見えてくることを切に願っています。この萩圏域で地域住民が安心して医療を受けられる医療体制なくして、地域の存続はありえませんし、人口減少に歯止めをかけ、定住に結びつけるといった地方創生もありえません。

医療従事者すべてにとって、また住民の皆様にとって魅力ある医療圏を作っていく事が我々医師会の役目だと思っております。行政及び関係機関と一致団結できるよう積極的に働きかけて参りたいと思います。皆様のご協力をどうかよろしくお願い致します。

最後になりましたが、今年一年、会員の先生方お一人お一人にとって充実した幸多き年となりますことを祈念申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年1月7日



一 医師会

1 会長報告 綿貫会長

1) 令和4年度臨時総会の開催について

協議事項：萩市医師会の会費賦課徴収規程の一部改正について

日本医師会が卒後5年までの若手会員の会費を全額免除としたことを受け、山口県医師会も同様の取扱いとし、会費賦課徴収規程の変更を行った。各郡市医師会にも同様とするよう要請があり、萩市医師会として12月理事会にて会費賦課徴収規程の所要の改正手続きを行うことを定款等検討委員会に諮問することが承認され、検討委員会に付し書面決議にて議決された。合わせて、理事会で規程の改正は総会の議決事項であるため、臨時総会の開催時期及び方法について協議し、例会前の1月24日(火)から26日(木)までの間で開催基準日を決め、書面決議とすることで、承認されたことが報告された。

2) 新型コロナウイルス感染症における「経口抗ウイルス薬（ゾコバ錠125mg）」の医療機関及び薬局への配分について、山口県を通じて、国が確保し配分する同薬剤の配分を希望する医療機関や薬局に対する確認調査があり、希望された医療機関には同薬剤の登録センターへ申請する手順が県から示されることが報告された。

【追加報告事項】

・萩健康福祉センターからの情報として、令和4年度から始まった国の「外来機能報告」などを議題とし、萩医療圏の地域医療構想病床機能等検討部会を令和5年1月31日(火)、地域医療構想調整会議を同年2月17日(金)の開催予定で同センターが準備していること

2 1月診療報酬請求書の移送について

大藤理事

国保・社保 1月10日(火) PM2:00まで

3 1月の定例理事会、例会・賀寿の会の日程について 大藤理事

定例理事会 1月11日(水) PM7:00～

例会 1月27日(金) PM7:00～

祝賀・賀寿の会：お祝いは例会後、宴会は中止
理事会・例会：医療支援センター

4 会員の動向について 大藤理事

【11月1日付け入会】

山崎 和大（やまざき かずひろ）会員

所属 萩市民病院（整形外科）

2020年4月より勤務

5 職員の賞与について 大藤理事

支給日 12月16日(金)

6 郡市医師会学校保健担当事務協議会・学校医部会合同会議報告 藤原理事

11月17日(木) 於 山口県医師会

【議題】

1. 学校における新型コロナウイルス感染症
2. 令和4年度中国四国医師会連合会学校保健担当事務連絡協議会について
(詳細は山口県医師会報の令和4年10月第1946号に掲載文を参照のこと)
3. 令和4年度中国四国医師会連合会学校保健担当事務連絡会議について
4. 令和4年度中国地区学校保健・学校医大会について
5. 第53回全国学校保健・学校医大会について
6. 令和3年度学校検尿集計結果について
7. 「学校医活動記録手帳」の活用状況について
8. 「学校医の手引き」改訂について

9. 令和4年度山口県医師会学校医研修会・学校医部会総会・予防接種医研修会・学校心臓検診精密検査医療機関研修会について

10. その他

上記の詳細は、萩市医師会報12月号の12月理事会報告の頁に掲載済み

7 郡市医師会産業保健担当理事協議会報告 兼田理事

11月17日(木) 於 山口県医師会

第31回日本医学会総会2023東京の産業医セッションが認定産業医研修会として位置づけられ、単位取得が出来ること。11月例会で報告したとおり、山口県医師会でも同セッションのサテライト会場として開催が予定されること。なお、山口県医師会での産業医研修会に関して、WEB開催を検討したが、現時点では経費等の問題で見送ること

8 郡市医師会労災・自賠責保険担当理事協議会、労災保険医療委員会合同会議報告 大藤理事

12月1日(木) 於 山口県医師会

【議題】

1. 山口労働局からの説明・質疑応答
2. 山口労働局長に対する要望について
3. 令和4年度労災・自賠責医療委員会について
4. 郡市医師会からの意見、要望について
5. その他

上記の詳細は、萩市医師会報12月号の12月理事会報告の頁に掲載済み

9 学術講演会の開催について 藤原理事

日時 令和5年2月9日(木)

19:00~20:10

開催形式 WEB (Teams:長門市医師会館)

特別講演 「(案)ボノプラザンが変えた酸関連疾患の診療」

講師 山口大学大学院医学系研究科基礎検査学 教授 西川 潤 先生

10 11月分会計収支の報告について

米城理事

別紙分会計収支表のとおり報告された。

二 萩准看護学院

1 運営協議会報告 若松理事

日時 12月14日(水) 理事会前

【議題】

1. 入学試験の結果について
受検者9名(男性3名、女性6名)中、9名の合格が報告されたこと
2. 入学時の学生用健康診断書(様式)改正について
古い様式であったため、現行の取扱いに基づき文言等を修正するなど新様式に改訂するため、学院担当主任から改訂の趣旨が説明され、承認されたこと及び同じく主任から学生が医療機関に健診した際の協力要請がされたこと
3. 専任教員の採用について

県所管課から専任教員3人は確保していないと新規入学の学生募集は出来ないとの指導を受け、欠員1人の補充のため、ハローワークで継続的に募集し、年度途中で専任教員1人の補充が出来たところである。

補充に応じて頂いた方は65歳を超えておられ、年齢が若く継続雇用を希望する方が応募されれば交替する意向であったため、ハローワークで継続募集とした。

この度、この春に家庭の事情で医療機関を退職されたが、家庭の事情が変わり、就労が可能となった方から就労申し込みがあり、業務経験や実績を評価し採用を決定したことが報告された。

合わせて、今年度採用の新旧の2人の間での業務引継ぎや試用期間を考慮し、令和5年3月末までは教務員4人体制とすることが承認されたことが報告された。

一 医師会

1 会長報告

綿貫会長

年末年始に萩市休日急患診療センターの発熱外来の応援出務にご協力頂いた会員への謝辞に続き、以下のとおり、概要報告がされた。年明けの2日、3日に同センターの発熱外来の受診患者が多く、1月5日の県の公表では萩医療圏の新型コロナウイルス患者の発生者数（公表が遅れた1月4日の発生者数も含む）が過去最多の169人になったこと。

次にこの8日(日)に二次救急輪番病院の都志見病院では新型コロナウイルスの感染が院内で急拡大し、入院患者の受入れ停止の医療機能の制限をせざるを得なくなり、同病院から関係機関での対応協議をするため、当医師会に対し、関係機関による会議を同日に緊急開催するよう要請があり、同日、当医師会の理事を招集し、精神科病院を除く圏域の全病院の院長、萩市及び阿武町、萩健康福祉センターの行政担当者、萩市消防担当者、県本庁（新型コロナウイルス感染症対策室他）を通じて助言をお願いした山口大学附属病院の藤田准教授、県立総合医療センターへき地医療支援部の原田診療部長（WEB）にも参加頂き、協議を行ったことについて概要報告がされた。

会議では都志見病院から同病院内の救急患者を受け入れる急性期病棟及び地域包括ケア病床などの一般病棟で入院患者、看護師などの医療従事者が新型コロナウイルスに感染し、病棟の利用制限（感染防護のためのレッドゾーンの設定等）などで救急の外来機能は何とか維持するが、当分の間、入院患者の受入れを停止せざるを得ないこ

とから、①同病院に代わって入院患者を受け入れる病院を確保すること、同病院をはじめとする二次救急輪番病院の救急外来の負担の軽減のため②一次救急医療機関での救急外来を積極的に受診しやすくするために住民への協力を要請することを検討するよう提案された。協議した結果、①については輪番体制を辞退されていた、玉木病院から都志見病院の医療機能が回復するまでの当分の間、救急対応をして頂くことが表明されたこと。救急の初期対応を経て重篤な状態を脱した入院患者の転院について、極力、二次救急輪番病院以外の萩医療圏のその他の病院で引き受けて頂くこと。圏域の病院で対応できない症例の患者については圏域内の病院で初診をした上で、隣接の他の医療圏（山口、長門、益田）の二次救急病院に搬送することへの理解・協力を頂くため、隣接の他の医療圏の関係病院及び所属医師会あてへの依頼文書を萩市医師会から発出すること（1月9日付けで文書発出済み）②については一次救急医療機関（県へ診療検査医療機関として登録済みの診療所等）の通常診療の業務負担を軽減し、救急受診を円滑にするため、医療機関の発熱外来を受診された患者で軽症の方には抗原検査キットを無料配布し、自己検査・自己健康観察をするよう、各医療機関の判断で、勧奨すること。住民には不要・不急の救急利用をしないことへの理解の徹底及び抗原検査キットの無料配布の取扱いについて、萩市、阿武町から広報周知を行うことが対応策として示された。

また、萩市長と共同で住民向けの救急医療に関する理解周知のメッセージを医師会長名で1月9日に表明した。

その他、12月27日(火)に萩市の主催で「二次救急輪番調整会議」が行われ、以下の項目について各病院からの状況や次の議題について協議されたこと

- ①発熱救急対応の分散
- ②輪番病院による整形外科患者の一旦受入れ
- ③消防の搬送可否のトリアージ
- ④『萩・阿武健康ダイヤル24』の業務実績の検証
- ⑤二次救急の時間帯8：00～8：00を8：30～8：30に変更について

①、③関係では、診療所で対応ができる軽症の救急患者を各医療機関での通常診療に繋げていくことが出来るような体制づくりを整えていく必要があるとの意見があったこと

④関係では、軽症者の深夜における救急対応について、萩阿武健康ダイヤル24の普及促進とともに相談者への対応力の向上等を期待するなどの意見があったこと

⑤関係では、二次救急輪番病院による対応時間を現行の「8：00から翌日8：00」を「8：30から翌日8：30」への変更することについては、各担当病院の持ち帰りの検討として、萩市に意向を報告し、実施の可否を決定することとされたこと

②関係では整形外科を標榜する医療機関と対応について調整する必要があること

2 2月診療報酬請求書の移送について

大藤理事

国保・社保 2月10日(金) PM2：00まで

3 2月の定例理事会、例会の日程について

大藤理事

定例理事会 2月8日(水) PM7：00～

例会 2月24日(金) PM7：00～

場所 医療支援センター

4 令和4年度臨時総会の日程について

綿貫会長

議題 会費賦課徴収規程の改定について

日程 1月26日(木) (基準日)

方法 書面決議

日程及び方法について承認された。

5 12月分会計収支の承認について

米城理事

別紙分会計収支表のとおり承認された。

二 萩准看護学院

1 令和5年度生の2次入学試験について

若松理事

日時 2月18日(土) 午前筆記、午後面接

場所 萩准看護学院

当日の面接試験への出務要請と出願者の増員について協力要請がされた。

2 12月分会計収支の承認について

米城理事

別紙分会計収支表のとおり承認された。

三 その他(広報委員会からのお知らせ)

理事会終了後、広報委員会が開催され、会報への投稿(コラム、会員紹介、学会報告等)については、広く多数の会員から募ること及び、以下の取扱いとし、会員の理解と協力を周知することが確認された。

・当月会報へ投稿の掲載を希望する場合、当月の理事会開催日(当月の第2週の水曜日)の前日までに原稿を提出されること

・特に内容は限定されないこと、会報に掲載するのに相応しい識見、品格のあるものであれば題材は制限されないこと

・会報のフォントサイズからして1頁に収まる文字数、写真の大きさとされること

編集後記

2023年が始まりました。1年の計は元旦にありとは言いますが、皆様はどのような目標を掲げられましたでしょうか。広報委員会としては更なる内容の充実を図るべく、委員同士意見を交わし合い少しでも多くの方に満足いただけるよう努力して参りたいと存じます。また会員の方のご意見も反映させたいと考えておりますので多くのご意見ならびにご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。(K.W.)



救急月報 (令和4年12月分)

萩市消防本部

区分	救急事故種別										合計		
	火災	自然災害	水難事故	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病		その他	
本月分	出動件数	0	0	0	9	1	1	43	3	0	185	43	285
	搬送人員	0	0	0	9	1	1	38	3	0	171	42	265

萩市医師会報 No.598

2023年1月27日発行

編集 広報委員会
 発行人 萩市医師会
 印刷所 (有) マシヤマ印刷